





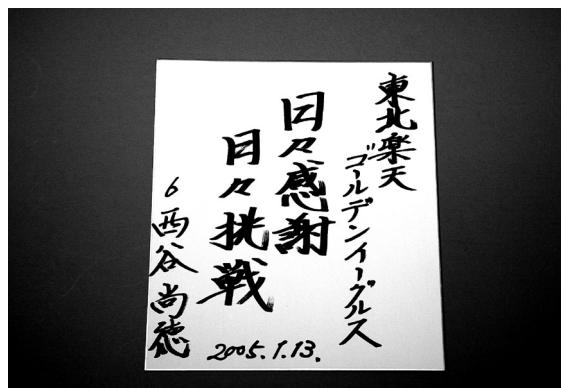


西谷尚徳 (にしたに・ひさのり)

04年の東京六大学野球春季リーグ戦で主将として12季ぶりの優勝に貢献。大学通算3割3厘、3本塁打、27打点、ベストナイン3回。04年ドラフト4位で東北楽天ゴールデンイーグルスに入団。内野手。178cm・77kg。右投左打。05年文学部卒。

## プロ野球

## 日々感謝、日々挑戦



この気持ちを忘れない

治大学に進学した理由は、自分の野球スタイルが明治に合っていると思ったのと、どうしても東京六大学で野球をやりたかったからです。神宮の大観衆の前でプレーができる、4年生最後の大戦では逆転ホームランを打って勝利で終えることができました。明治での最後の一周年は、主将として春季リーグ戦で12季ぶりに優勝することができましたし、日米大学野球選手権では首位打者に、世界大学野球選手権では日本代表チームの主将として銀メダルを獲得することができました。この一年間がなければプロ入りできなかったと思います。

野球をはじめたのは小学校1年生の時、兄の影響からでした。野球をはじめてから高校までポジションはずっとショート（大学ではセカンド）でしたが、6年生の時、所属していた久喜スワローズはメンバーが多く、ピッチャーをやっていました。チームメイトのほとんどが下級生で、弱いところは見せられず、

明

治大学に進学した理由は、自分の野球スタイルが明治に合っていると思ったのと、どうしても東京六大学で野球をやりたかったからです。神宮の大観衆の前でプレーができる、4年生最後の大戦では逆転ホームランを打って勝利で終えることができました。明治での最後の一周年は、主将として春季リーグ戦で12季ぶりに優勝することができましたし、日米大学野球選手権では首位打者に、世界大学野球選手権では日本代表チームの主将として銀メダルを獲得することができました。この一年間がなければプロ入りできなかったと思います。

「泣くんだしたら辞めろ」と怒られたことは今でも印象に残っています。

中学では地元のシニアリーグに入り、高校は埼玉県立鷺宮高校に進みました。鷺宮高校を選んだ理由は、高野（こうの）和樹監督のもとで野球をやりたかったです。高野先生はいつも「いい選手である前にいい生徒であれ、いい生徒である前にいい人間であれ」と言わっていました。大学で教員免許の資格を取ったのも高野先生の影響が大きかったと思います。甲子園への夢は県予選ベスト8で終わりましたが、キャバテンとして嫌われ役をやっていた自分を理解してくれる素晴らしいチームメイトに恵まれました。

これまでの野球人生振り返ってみると、本当にいい指導者、チームメイトに恵まれていたと感じています。これからも支えてくれる人への感謝を忘れず、挑戦し続けていきたいと思います。

## 5

月15日（日）、神奈川県綾瀬市で市役所職員が同僚を借金トラブルで殺人・死体遺棄したという事件

で、被疑者逮捕の警察発表があった。その日、社会部で研修中の私は、先輩に同伴して被害者の顔写真を手に入れ仕事を命じられた。これを「雁首（がんくび）取り」という。

夜遅くから被害者宅の近くをあたたか。近所の人や同級生だった人を探す。当然反応は良くなかった。「さっきも記者だっていう人が来たの。突然騒がしくなって怖いわ。どうしたの」。事件の詳細を話す。「まあ。嫌だわ」。

これまでの野球人生振り返ってみると、本当にいい指導者、チームメイトに恵まれていたと感じています。これからも支えてくれる人への感謝を忘れず、挑戦し続けていきたいと思います。

被害者が50歳だったため、学生時代の写真ではリラックスしているといふ理由だった。少し残念な、でも安心した気分であった。

尼崎でのJR脱線事故では、様々なところで報道手法について議論されている。遺族の抵抗は大分あったようだが、主要報道各社は実名を原則とした。事故の再発防止には、実名や顔写真によりアリティを持たせ、国民党が痛みを共有することが大事だという視点からだ。それがジャーナリズムの使命なのだと自分に言い聞かせ、今は納得するしかない。

帰社するまでの会話で先輩は、「俺もこんな仕事は嫌だし、何年やっても正解はわからぬ」と言っていた。キャリアを積んだ先輩でも、人間らしい気持ちを持つ悩みながら取材している。こんな先輩のいる職場で働けて幸せだと思う。6月からは本配属となり、「ないよ」と言っていた。キャリアを積んだ先輩でも、人間らしい気持ちを持つ悩みながら取材している。こんな先輩のいる職場で働くようにになる。いつまでも悩みながら慎重に報道していくかと思う。

## 24時間眠らない報道局



## 報道

## 雁首取り



岩波孝祥 (いわなみ・たかよし)

高校生時に「飢餓人口8億以上」という新聞記事を読み、国際協力に携わる仕事を志す。大学入学後、「世の中の関心を貧困問題に向かわせたい」とマスコミへの就職を決意、TBSテレビに報道職として入社。マスコミ研究室29期生。05年農学部卒。









